

平成 26 年度 一般社団法人室内環境学会第 1 回通常理事会議事録

日 時：平成 25 年 11 月 22 日（金）17:30～19:00

場 所：(株) アイデック 7 階会議室

出席者

理事：中井里史（代表理事）、山口 一、柳沢幸雄、関根嘉香、水越厚史、野口美由貴

監事：斎藤育江

オブザーバー：佐藤 博（九州支部長、H25 年学術大会長）、橋本一浩

事務局：中島大介（事務局長）、松木秀明（会計）、色摩 操

欠席理事

東 賢一、神野透人

本理事会は総理事数 8 名のうち過半数である 6 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は中井理事長が務めた。

議事次第：

議事に先立ち、平成 25 年第 4 回役員会議事要旨（案）、平成 25 年度第 3 回通常役員会議事録（案）の確認が行われた。また、平成 25 年度（任意団体）総会議事内容の確認を行った。

3. 平成 25 年度第一期決算報告

松木会計より第一期（H25.5.30～H25.9.30）の決算が報告された。続いて斎藤監事より監査報告があり、一般社団法人としての情報開示に向け、委員会活動費の使途に関するガイドラインを示す必要があるのではないかと、との指摘があった。特に支部活動における交通費の支払いについては、受領者名の領収書を活動記録とともに提出する必要があるとの指摘があり、事務局で対応することとした。

4. 平成 25 年度事業報告

中井理事長より平成 25 年度事業報告があり、承認された。併せて各委員会活動の報告があった。具体的には以下の通り。

学術委員会：助成金制度、諸外国の情報収集及び発信、学生懇談会などについて。

化学物質分科会：分科会の開催、室内環境学概論（姉妹編）の出版計画状況などについて。

燃焼器具分科会：器具の使用に伴う室内空気汚染と発生量についての活動報告。

地域分科財保全分科会：四天王寺の宝物館調査の報告。

出版委員会：16 巻 1 号の発行、編集会議の開催報告等。

標準化委員会：シックハウス（室内空気汚染）問題に関する検討会の状況について報告された。

事業委員会：JASIS2013 での講演会「PM2.5 の最新情報」の開催、書籍の出版準備状況の他、協賛に関する審議の報告があった。

広報委員会：HP の管理更新報告の他、現在 HP のバナー広告が現在 33 社、学会誌への広告 2 社の受付、ポスター及びビラの配布について報告された。

社会連携委員会：広報委員会作成のポスターを基に PR 紙を作成し、日本環境変異原学会シンポジウム、JASIS2013 講演会で配付したこと、ISEE, ISES and ISIAQ のカンファレンスに篠原会員が講演したことなどが報告された。

商標管理委員会：本年度は申請がなかったと報告された。

東北支部：室内空気、放射性物質汚染関連等の活動について報告された。

関西支部：2014 年 3 月上旬に予定している講演会の準備等について報告された。

燃焼器具ガイドライン WG: 日本建築学会環境工学委員会に設置されている「燃焼排ガス汚染検討 WG」と共同で情報収集を行った等の報告があった。

5. 一般規則等規程類改正

- ・一般社団法人室内環境学会一般規則について、それぞれ下線部を追加することとした。

第5条4項 理事長候補及び監事候補選挙結果、および作成された理事候補リストに基づき、総会で正会員の中から理事及び監事を選任する。

第6条

2 事務局長および会計は、必要に応じて事務局員の中からそれぞれの代理を定めることができる。

3 事務局長代理および会計代理の任期は事務局長の任期と同一とする。

第8条 評議員は、原則として理事選出時期と同時期に、正会員の中から、自薦または評議員の推薦により、評議員会で選任する。但し、新任の評議員は直近の総会において信任を受けるものとする。

4 評議員は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。2年ごとにおおむね半数を改選するものとし、再任は妨げない。

5 理事選出時期と異なる時期の評議員会で選出された評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終の理事選任に関する定時総会の終結の時までとする。

- ・会員種別と権利について、未確定部分について整理した。特に法人会員の学術大会での発表（登壇者）はできないこととした。
- ・学会賞・論文賞規程について、
 7. 選考方法（6）理事長は評議員会に諮問の上、受賞者を決定する。 と改正した。
- ・永年賞規程 について、3. 受賞対象者 の項に、「事業委員会で審議する」を追加した。
- ・その他各規程類について、会長→理事長、運営委員会→評議員会、室内環境学会→一般社団法人室内環境学会、規定→規程、規約→規程 と改正した。
- ・大会長奨励賞（ポスター賞）審査基準（内規）について一部改正した。

6. 名誉会員の推挙

中井理事長より名誉会員の推挙方法について提案があり、評議員会に推薦を依頼することとした。

7. 報告事項

平成25年度室内環境学会賞論文賞：関根選考委員長より、選考過程について報告があった。

平成25年度永年賞：山口事業委員長より、今回表彰となる4社（大和ハウス工業株式会社、東洋興商株式会社、株式会社住化分析センター及び日本バイリーン株式会社）が紹介された。

平成25年度査読者賞：関根出版委員長より、今年度は該当者なしと報告された。

8. 学術大会準備状況

佐藤大会長より収支見込み及びタイムテーブル等を含めて進捗状況が報告された。特に環境設備見学会について詳細が示され、

9. 新規入会希望者の承認

事務局より平成25年9月及び10月の入会希望者7名（正会員1名、学生会員6名）のリストが提出され、全員の入会が承認された。

10. その他

- ・役員交通費について、理事会出席の交通費が必要な場合は事務局に相談するよう、周知された。
- ・各委員会等の平成26年度活動費の配分をするにあたり、旧会計年度末である平成25年12月末までに支出を予定していた分について考慮するものとし、事務局でとりまとめ、後日理事長が配分を決定することとした。
- ・平成26年学術大会は、工学院大学の柳宇会員が大会長となり開催予定であること、会場・日程は学事日程決定後に調整する必要がある、未定であることが理事長より報告された。
- ・会員動向について事務局から報告された。平成25年11月10日時点の総会員数は正会員380名、法人会員48団体、学生会員45名、シニア会員3名の合計476名であり、同9月10日より13名増となった。
- ・事務局長代理に、橋本一浩会員を定めた。
- ・調査研究助成基金に関する募金趣意書（確定版）が提出された。本趣意書を本年大会前日の社会連携委員会でも配布し、また展示企業にも配布予定することで合意された。

- ・理事長より、一般規則、規程類及び定款について再度精査し、改正すべき点があれば指摘するよう依頼があった。
- ・野口社会連携委員長より、大会前日（平成 25 年 12 月 4 日）の社会連携委員会による懇談会に関する案内があった。

以 上